

地域とつながり、未来を支える医療を。

Towa輪kakehashi

Four Seasons News Letter 2026 Summer

特 集

地域連携の会 開催

第23回 社会医療法人 東和会 地域連携の会

Contents

- 02 地域連携の会 開催報告
- 04 地域連携の会
講演ダイジェスト
- 06 News & Topics



 社会医療法人 東和会

第23回 地域連携の会 開催報告

顔の見える関係で、 地域医療を共に支える。

6月27日（土）、ホテルグランヴィア京都において
「第23回 地域連携の会」を開催しました。

当日は悪天候にもかかわらず、多くの先生方にご参加いただきました。

本会では、当院診療科の取り組みをご紹介すると共に
地域医療連携のさらなる充実に向け、交流を深めました。

開催概要

 日 時 2026年6月27日（土）16:00～18:30

 会 場 ホテルグランヴィア京都

 参加人数 約230名

 講演会 4講演（各診療科の取り組み紹介）

 懇親会 情報交換・意見交換会



社会医療法人 東和会 理事長 大西 恭子

当日の流れ



開会あいさつ

16:00～16:10



講演会

16:10～17:15



懇親会

17:15～18:30

地域の先生方との
連携こそが患者さまに
安全・安心な医療を
提供する基盤です。
今後も顔の見える関係を
大切にしながら、
地域医療を共に
支えていきます。



当日の様子



東和会グループ会長 飯田 稔



ご支援・ご協力を賜っております先生方へ感謝の言葉をお伝えしました。



▲優雅な音楽で会場は
和やかな雰囲気に。

地域医療を共に支えるために



講演会



今回の講演テーマ（写真上から順に）
各診療科の最新の取り組みを紹介しました。



消化器外科

直腸脱と骨盤臓器脱の合同手術 水谷 真



乳腺外科

単純CTで乳がんを見つける 野村 寛徳



呼吸器科

当院における肺がん治療の
新たな取り組み 東山 聖彦



脳神経外科

特発性正常圧水頭症の現在
朴 陽太（大西 恭子 代演）

懇親会



日頃、電話や紹介状を通じたやりとりをしていますが、
直接顔を合わせる機会は限られています。
懇親会では、診療上の課題や地域連携について率直な
意見交換が行われ、紹介・逆紹介をはじめとする
今後の連携をより円滑に進めるための貴重な機会と
なりました。

参加者の声（一部抜粋）



直接お話ができ、安心してご相談できる
関係が築けました。



講演会で最新の取り組みを知ることができ、
連携のイメージが具体的になりました。



懇親会の意見交換が大変有意義でした。
また参加したいです。



地域の先生方とともに、 医療を次のステージへ

1

直腸脱と骨盤臓器脱を“一度に治す”という選択肢 ～合同手術のメリット～

講演者 消化器外科 医長 水谷 真

直腸脱と骨盤臓器脱（子宮脱・膀胱瘤など）は、いずれも「骨盤底の脆弱性」が原因であり、合併することが多いです。当院では、消化器外科と女性泌尿器科が連携し、患者さまの状態に応じて合同手術を施行しています。合同手術により、患者さまの身体的・精神的・経済的負担を軽減します。



ポイント

- ✓ 患者さまの状態に合わせて最適な術式を選択（経腹手術 / 経肛門手術）
- ✓ 当院独自の腹腔鏡手術の工夫で合併症リスクを低減
- ✓ 合同手術で麻酔と手術を一回に集約、手術時間も短縮
- ✓ 直腸脱と骨盤臓器脱の合同手術が可能な施設は全国的にも希少



直腸脱や骨盤臓器脱が疑われる患者さまは、ぜひ当院へご紹介ください。

2

“たまたま写った乳がん”を見逃さない取り組み CTチェックによる乳がんの早期発見

講演者 乳腺外科 部長 野村 寛徳

乳がんの発見を目的としていないCTでも、早期乳がんが発見できる場合があります。乳腺外科医が能動的にCT画像を確認し、無症状の乳がんを発見する取り組みを行いました。当院では毎朝の「CT画像チェック」を継続し、多くの患者さまの乳がん早期発見につなげています。



ポイント

- ✓ 前日のCT（頸部・胸部・腹部など）を毎朝チェック（1日約30分）
- ✓ CTの確認により、乳がんを9ヵ月間で23例発見（取り組み前から倍増）
- ✓ 発見例のほとんどが無症状で、浸潤径2cm以下の早期乳がん
- ✓ 65歳以上の高齢女性での発見が多数。検診を受ける機会が少ない方の早期発見に貢献



乳腺のCTで気になる所見がある場合は、ぜひお気軽にご相談ください。

講演会では、当院の特徴ある取り組みについて、4名の医師が講演を行いました。
本特集では、講演の要点をダイジェストでご紹介します。

3



呼吸器科が新体制に。 早期肺がん・NTM診療を強化

講演者 呼吸器科 主任部長 東山 聖彦

2026年4月より新体制となった呼吸器科では、増加する非結核性抗酸菌症（NTM）と、見逃されがちな早期肺がんの診療に力を入れています。CTの確認と低侵襲手術の活用で、これまで以上に肺がんの早期発見・早期治療を実現します。

非結核性抗酸菌症（NTM）

- 日本で急増中。死亡者数は結核を上回る
- 肺がん検診D～E判定症例の約15%に潜在
- 気管支鏡検査で確定診断し、適切な多剤併用療法を実施

早期肺がんの発見と低侵襲手術

- 他疾患で撮影したCTの約3%で早期肺がんを発見（実例：1週間で数例、偶然に見つかっております）
- 完全胸腔鏡下手術（cVATS）で低侵襲に治療
- 20mm以下の病変には術前マーキングを行い、確実な切除を実現



治らない肺炎、CTでの異常陰影など、気になる症例はぜひご紹介ください。

4

見逃されやすい正常圧水頭症を疑う視点 ～早期発見・早期治療が重要です～

講演者 脳神経外科 部長 朴 陽太（理事長 大西 恭子 代演）

特発性正常圧水頭症（iNPH）は、歩行障害・認知機能低下・尿失禁を主症状とする疾患です。治療により歩行機能などの改善が期待できる一方、認知機能は進行すると改善しにくいため、早期の気づきと治療が患者さまの予後を大きく変えます。

三つの主症状（三徴）

※60歳以上で下記があれば要注意

- ① 歩行障害
（小刻み、すり足、開脚歩行）
- ② 認知障害
（注意力低下・無為・無関心）
- ③ 尿失禁
（切迫性尿失禁・頻尿）

診断の流れ

- 頸部CT・MRIで特徴的所見を確認（DESH所見、脳梁角<90°）
- タップテストで改善を確認
- 総合的に手術適応を判断

治療：LPシャント術

- 脳脊髄液を腹腔へ誘導し、脳室内圧を正常化
- 手術時間は約1時間
- 早期治療で歩行改善が期待
※認知機能は早期治療が鍵



開脚歩行・方向転換時の不安定性・切迫性尿失禁・注意障害のある高齢患者さまは、ぜひ脳神経外科へご紹介ください。

今後も地域の先生方と連携し、患者さまに安全・安心な医療を提供します。



第一東和会病院 地域連携室

TEL：072-671-1118（直通）FAX：072-671-1090（直通）
月～金曜：8:30～19:00 土曜：8:30～17:00

医療と介護をつなぐ

「医療・介護かけはしネット」を開催

6月12日

高槻城公園芸術文化劇場(北館・文化ホール展示室)

約100名が参加

第2回医療介護連携の会「医療・介護かけはしネット」を開催しました。テーマは「シームレスな関係構築を目指して」。医療機関と介護事業所が互いの役割や取り組みへの理解を深め、円滑な連携体制を構築することを目的としています。

当日は高槻市・島本町の地域包括支援センターおよび居宅介護支援事業所の皆さまと東和会グループ職員を合わせ、約100名が参加しました。



第一部 入退院支援の実際を紹介

第一・第二東和会病院における入退院支援の実際を紹介。医療と介護が連携する場面を具体的にイメージしていただく機会となりました。

また、耳鼻いんこう科医師の菊岡祐介が「知っておきたい『難聴』とのかかわり方」をテーマに講演。難聴のケアが認知症の予防につながることを紹介しました。



第二部：意見交換・懇親会

参加者と東和会グループ職員との懇親の場を設け、連携の課題や工夫について活発な意見交換が行われました。

現場の課題を共有し、率直に意見を交わすことで、多くの気づきを得る機会となりました。



日頃からお互いの業務や役割を理解しておくことは、患者さま・利用者さまへの迅速な対応や円滑な支援につながります。今後も顔の見える関係づくりを続けていきます。

地域交流ニュース①

和朗園「春の福祉フェスタ」開催

4月28日

イオン高槻

和光認定こども園の3歳児クラスによる「はにたん体操」、ボランティア団体・如月会による民謡の演奏、和朗園職員の有志による南中ソーラン節、和朗園や、みやの楽々園の入居者さまによるファッションショーなど、さまざまな企画を通して地域の方々と交流を深める貴重な機会となりました。

また、介護体験ブースでは、車いす試乗体験やハンドケア体験を提供し、地域住民に健康・介護予防・福祉に関わる情報をお届けしました。



●施設利用者さまによるファッションショー



●こども園の園児による「はにたん体操」



●職員による「南中ソーラン節」



地域へ届ける健康講座

～地域の皆さまが健康や生活を見直すきっかけとなる情報をお届けしています～



「お腹のがんを正しく知ろう」

5月23日 高槻市立生涯学習センター・多目的ホール

参加者
200人



松本 直基 (消化器外科)

胃や大腸、肝臓・胆のう・膵臓といった「お腹のがん(消化器がん)」について、消化器外科の医師 松本直基が、分かりやすく解説しました。参加者からは、「さらに深く知りたくなった」といった感想が寄せられました。



「デリケートゾーンの悩み改善講座」

5月29日 芝生すこやかテラス

参加者
50人



八木 一暢 (女性泌尿器科)

女性に多く見られる排尿障害とフレイルの関係、その予防法・治療法を女性泌尿器科の医師八木一暢が解説しました。第二部では、理学療法士 保科章子指導のもと、参加者が骨盤底筋体操を体験。講演終了後には個別相談も行いました。



「タバコ健康被害について」

6月13日 大冠北第二コミュニティセンター

参加者
50人



東山 聖彦 (呼吸器科)

喫煙が肺がんやCOPD(慢性閉塞性肺疾患)をはじめ、肺や心臓など全身の健康に及ぼす影響や、禁煙によって期待できる健康上のメリットについて、呼吸器科医師の東山聖彦が分かりやすく解説しました。



地域交流ニュース ②

地元中学生が医療の現場を体験

6月24～25日 高槻市立第6中学校の2年生3名が来院

手術室の見学や手洗い・手袋の着脱体験をはじめ、透析室・検査室の見学、リハビリ体験など、普段は見ることのできない医療の舞台裏に触れていただきました。そして、患者さまをさまざまな職種が協力しながら支えていることを体験していただきました。



健診センター 一時移転のお知らせ

第一東和会病院 健診センターは、施設の建て替え工事に伴い

8月5日(水)より病院本館5階に一時移転します。

これに伴い、誠に勝手ながら、移転作業のため

7月31日(金)午後～8月4日(火)健診センターを休診させていただきます。

ご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願い致します。

※休診の期間も、お電話(072-671-1035)でのお問い合わせに対応しています。
(平日9:00～16:00 土曜日9:00～12:00)

※作業の進行状況によって変更となる可能性があります。

移転先

病院本館5階

市民公開講座のご案内 ～皆さまの健康づくりをサポートします～



知っておきたい『腸活』の世界！

～胃腸を整える基礎知識と進化する内視鏡治療～

9月26日(土)

10:00～11:30

会場：高槻市立生涯学習センター
(多目的ホール)

参加費：無料(先着270名)

講師

消化器内科 医師 菊谷 聡



診療統計

月平均

2026年4月～
2026年6月

新入院患者数

683.0

1日平均外来患者数

641.6

紹介件数

1072.3

地域支援病院
逆紹介件数

589.7

1日平均入院患者数

206.0

救急搬送受入患者数

316.0

外来紹介患者件数

810.3

地域支援病院
紹介件数

697.3

病床利用率

84.8%

手術件数

390.0

入院紹介患者件数

348.0

平均在院日数

9.1日

全身麻酔件数

266.0

社会医療法人東和会 理念



私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。

そして患者さまの人権を尊重し、「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。

発行 / 第一東和会病院 発行日 / 2026年7月31日

編集 / 第一東和会病院 総務課 広報係

※今号掲載の職員の所属部署については取材時のものです。

お問い合わせ 地域連携室



第一東和会病院

TEL：072-671-1118 (直通)

※受付時間

月～金曜 8:30～19:00 / 土曜 8:30～17:00



第二東和会病院

TEL：072-674-1008 (代表)



東和会いばらき病院

TEL：072-623-0234 (代表)